



1安打完封の快投を見せた八学光星の洗平比呂=22日、秋田市こまちスタジアム

## 秋季東北高校野球 共に決勝進出

# 光星、青森山田 センバツ濃厚

第16回秋季東北地区高校野球大会は22日、秋田市のこまちスタジアムで準決勝2試合が行われ、青森第1

代表の青森山田と青森第2代表の八戸学院光星が決勝に勝ち進んだ。兵庫県西宮市の阪神甲子園球場で開催される来春の選抜大会(センバツ)は、東北地区から3校が選出されることになっており、上位2校に入った青森山田と光星はセンバツ出場に大きく近づいた。

【13ページに詳報】

決勝が青森県勢対決になるのは、同一の顔合わせだった2015年以来、8年ぶり。県大会決勝と同じカードとなる。準決勝では両校のエースが快投を見せ、共に完封勝利を飾った。岩手第1代表の一関学院と対戦した青森山田は初回、原田純希の適時打で先制。その後も得点を重ね、

試合を優位に進めた。主戦関浩一郎は数発2安打に封じ、三塁を踏ませなかった。光星は福島第3代表の学

法石川と息詰まる投手戦を展開。背番号1の洗平比呂が相手打線をわずかに抑え込み、七回に三上祥司の中犠飛で挙げた1点を守り抜いた。青森山田―八戸学院光星の決勝は23日に同球場で行われる。試合開始は午前10時の予定。

(千葉達也)